

令和7年10月19日執行

吉賀町議会議員一般選挙選挙公報

吉賀町選挙管理委員会

ごあいさつ

家庭を預かる女性の視点・感点を基軸に、町の政策決定の場へ意見を反映すべく過去8期を皆様の温かいご理解ご支援を賜り、大過なく務めることができました。

この経験を更に拡充、拡大し、子どもから高齢者まで生き生きと楽しく、安心・安全に暮らせる町づくりに最後のご奉公をする事を決意致しました。

皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



かわむら ゆみこ
河村由美子

町とのかけはしに
みなさんにやさしく
安心して住みつけられる
町になるように
がんばります!!



河村 たいけい
河村 たいけい

- スピード感をもって
対処する町づくり
- 子供たちに多くの選択肢を
広げてあげる町づくり
- 安心・安全な町づくり
- 農業・林業の担い手を
育てる町づくり



しんどう よしろう
新藤吉郎

よしか病院の 早期建て替えを！

3年後の建て替え計画が諸般の事情で先送りとなりました。

人口減少、町民の高齢化を考えれば待ったなしの状況です。

私は早期着工へ取り組みます。
皆様のご支援を宜しくお願い致します。



さくらした たかnobu
さくらした 善博

吉賀町からつなぐ

- ①地域のつながり
- ②安心安全の町
- ③若者・現役・子育て世代
が立ち上がる町

吉賀町の豊かさを伝えつなぐ
人・まちをつなぐ
いのち、ゆめをつなぐ

現場や若者・女性や地域
多くの方の意見を聞き
町政に届けます。



やよい
きくつぎ 弥生

住民の思いが生かされる
町政を！
私は、次のことを重点に活動します。
○住民の声を議員活動のベースに！
○住民生活や地域の問題解決を！
○行政機能の向上を！
○目に見える「まちづくり」を！



池下ひろゆき

よしか町創生

～わが町の未来への道筋を～

よしか町の将来に向けて安定・持続の「まちづくり」を進めるためには、理想・計画・実行・継続があつてはじめて夢は実現できます。
皆様と共に「よしか町再生」に向けて実践していきます。

- ◇ 町の将来への投資
- ◇ 町のにぎわい
- ◇ 町の経済再生

町民の皆様の格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



三浦 浩明

立候補にあたり
一、初心にかえる事。
一、住民の目線を持つ事。
一、将来につながる行動をする事。
一、行政に提言、助言する事。



桑原三平



松蔭 茂
松蔭 茂

私は次のことを推進し
行政に働きかけます

健康で楽しい町づくり

- ＊納税者であるあなたの意見や提案を行政に働きかけ、その結果を報告します。
- ＊高齢者が互いに支え合う組織への助成事業
- ＊子ども・若者・高齢者が縦・横に連携する組織

未来を創造する町

- ＊町を計画的につくる構想
- ＊コンパクトシティ・人口問題・人々の移住等
- ＊山林資源を利用した経済
- ＊バイオ発電・ナノセルロース・新燃料等
- ＊産・学・官が連携した産業の推進

投票日は10月19日

あなたの一票で住みよい吉賀町づくり

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により印刷したものです。)

令和7年10月19日執行

吉賀町議会議員一般選挙選挙公報

吉賀町選挙管理委員会

私の主張

- ▼ 夜間救急を、ぜひとも再開を
- ▼ 指定管理施設の整理で財政の削減を
- ▼ 社会福祉協議会の労働条件の改善で、人手不足を解消する
- ▼ 議会と行政のより透明化を
- ▼ 人口減少に、歯止めの方策を
- ▼ お年寄りや、身体の不自由な人に、より理解のある政策を



おおば すみと
大庭澄人

世代を超えて支え合う町へ。未来に笑顔を繋ぎます。

1. 私の思い
昭和51年、七日市生まれ、地元育ち。平成24年に帰郷し、平成29年に結婚。妻と小学2年の長女、2歳の長男の4人家族。近所には89歳の母も暮らし、子育てと介護を身近に感じています。不動産業・葬祭業を通じ、町の「暮らしの始まりと終わり」に寄り添う中で、人口減少による寂しい故郷の姿に危機感を覚えます。長年この町を支えてくださった皆さんの安心と、子どもたちの未来を守りたい。その強い思いが、私をこの政治の道へと突き動かしました。

2. 三つの約束：人々の「つながり」を活かした町づくり
支え合いの仕組みづくり
「子育て応援隊」：シニア世代の知恵を借り、若い世代を支える相互扶助。
「おさがりバンク」：育児用品を譲り合い、子育ての負担軽減と資源活用。
医療と暮らしの安心
地域医療の継続と財政の安定：現在の医療を守りつつ、町の財政を圧迫しないよう、議会で厳しく見守ります。
地域の魅力と声の活用
「子どもと農家の方たちとの農業体験」：休耕地を活用し、世代を超えた交流と食育を実現。
「みんなで作る交流の場」：公民館などを活用し、誰もが気軽に集える場所を創出。
「夜間・オンライン意見交換」：忙しい世代の声も逃さず、SNS等も活用し、皆さんの声を必ず町に届けます。

3. 結び
この町の豊かな資源と人々の温かい「つながり」を活かします。どうぞ、あなたの声を私にお聞かせください。皆さんと共に、希望ある町を築きましょう。



山下 たつや

「共に声をあげ」
「共に歩み」
「共に未来を創る」
皆様の声をカタチに
安心と活力あふれる未来へ

私は生まれ育った吉賀町で、子供から高齢者まで安心して暮らせる環境を創ること、医療・福祉サービスの充実を注ぎ、産婦人科や小児科の医師確保、在宅介護の人手不足対策、高齢者等の移動支援を拡充し、命と暮らしを支える仕組みを地域全体で共有します。そして、企業参入の促進、交通ネットワークの整備は、生活の利便性と災害時の安全性を確保します。バス路線網の見直しやデマンド型交通の益々の活躍、歩行者・自転車道の整備によって、すべての世代が移動しやすい町を実現します。

皆様お一人おひとりの声を丁寧に汲み取り、具体的な政策へ繋げることをお約束します。未来を築くために尽力してまいります。

皆さんと手を取り合い、未来を築くために尽力してまいります。



澄川 浩一

よしかの宝を、確実に、未来へ

私村上がこの4年、町議会議員として常に意識したのは、施策の〈強度〉、つまり【運営耐久性】と【コストパフォーマンス】を重点的に問うことでした。特に施設運営（よしか病院、温泉施設、旧六日市学園等）、交通インフラの課題は、町民の生活の質を左右し、投資額も大きく、長期利用に耐えるかが真に問われる問題です。

不確実な時代にあって、地域の課題を自力で切り拓く〈自治〉の難しさは増えています。施策とは正解のないものだからこそ、あらゆる〈想定外〉を洗い出し、守りと攻めを兼ね備えた骨太な議論を尽くす必要があります。

町民の皆さまに代わり、この役割を真摯に担い抜く覚悟です。よしかに生まれ、よしかに育てられた者としての責任を胸に、決意新たに未来へ挑んでまいります。

どうか皆さまの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

高めて、つなぐ、行動へ



むらさき あき
村上 明

次の世代へ

今日より明日を
自分より他人を
お金より心を

= こどもたちの
未来のために =
百年安心の町づくり



にわた ひであき
庭田英明

安心と希望をひろげる町へ

党のアンケートには「これ以上物価が上がらないことを望みます」「夜間の救急病院が町内にないので不安」などの声が寄せられています。あなたの願いを政治に届け、安心と希望を広げる町をめざします。

- 救急を含む医療体制の確保
- 商工業、農林業への支援で生業を支える
最低賃金引き上げ分の支援、生産費をまかなう農産物の価格保障、相談体制の充実、草刈り、有害鳥獣対策を支える体制の充実を求めます。
- 高くなった保険料・税を引き下げ、くらしを守る
- 交通手段の確保に努める
- 誰もが人として尊重される政治を

選挙事務所：朝倉 923 電話・FAX 78-1500



ふじます まさはる
正夫
日本共産党

投票日は10月19日

あなたの一票で住みよい吉賀町づくり

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により印刷したものです。)